

YOKOSHIN NEWS

平成 28 年 9 月 28 日
横 浜 信 用 金 庫

《よこしん》景気動向調査結果について

—平成 28 年 7～9 月期実績、10～12 月期予想—

横浜信用金庫(理事長 大前 茂)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断 D I】

(全業種総合) 業況判断は改善しプラスとなる、来期も引続き改善を見込む

- 今期(平成28年7～9月期)の全業種総合業況判断DIは、前期比1.9ポイント上昇の1.2と改善し、プラスとなった。来期は、今期比4.9ポイント上昇の6.1と引き続き改善を見込む。
- 製造業の今期業況判断DIは、前期比2.8ポイント上昇の0.8と改善し、プラスとなった。来期は、今期比2.0ポイント上昇の2.8を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは、前期比1.4ポイント上昇の1.4となった。不動産業が前期比9.0ポイント上昇の9.0、卸売業は同11.0ポイント低下の-13.4となった。

【特別調査】「金融サービスにおけるIT利活用と中小企業」

- 金融機関のIT化によって起こる変化 「決済や入出金の利便性が高まる」(39.4%)
- 金融とITの融合(フィンテック)の認知度 「言葉だけ聞いたことがある」(47.8%)
- 利用している、あるいは利用したいと考えているサービス
事業上:「利用したくない」(38.5%) 個人:「スマホ決済・送金」(44.2%)
- ITを活用した金融サービスを提案してきた金融機関 「ない」(78.9%)

<調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)774先 有効回答数:758先
調査方法:各営業店職員による聞き取り調査 調査時期:平成28年9月上旬

その他詳細につきましては、「《よこしん》HP 法人のお客さま 景気動向調査」をご覧ください。

* 本件に関するお問い合わせ先 * 総合企画部: 汐見、石井 電話: 045-680-6912



横浜信用金庫